

科目名	キャリア教育(1)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	瀬戸香織 加藤将太
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	15 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。 キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、 「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	クラスのノームの意識付けを行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出
2		講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出
3		演習	起こり得る学校行事における学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる	配布プリントを記入し次回提出
4		講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出
5		講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
6		演習	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出
7		講義	エンターテイナーとしてで活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
8		講義	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出
9		講義	日常スコアシートを用い、仕事の上での自分の特性を知り自己理解を深める	配布プリントを記入し次回提出
10		講義	「計画力」：計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
11		演習	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12		講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13		講義	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。		
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック				

科目名	キャリア教育(2)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	瀬戸香織 加藤将太
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	15 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようになる。コミュニケーションスキルアップ検定の合格を目指す。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	進級を前にして仕事という理解を深めると共に社会の中での自分の役割とは何かを考える	配布プリントを記入し次回提出
2		演習	「チームワーク力」：現状と役割を理解して協力し合う大切さを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
3		演習	「働きかけ力」：自分から進んで取り組む力、チームワーク力と共に必要であることを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
4		演習	「創造力」：新しい価値を生み出す力をグループワークショップ方式で学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
5		講義	職業理解を深める	就職活動に挑戦したい企業一覧を記入し提出
6		演習	【履歴書・プロフィールの書き方】これまで取り組んできた学内イベントを整理し、自らの経験を伝えられるようになる	学校指定履歴書の学歴欄を記入し提出
7		演習	【履歴書・プロフィールの書き方】自分について伝えられるようになるため自己理解を深め客観視出来るようになる	学校指定履歴書の右欄を記入し提出
8		演習	【履歴書・プロフィールの書き方】自分について伝えられるようになるため自己理解を深め客観視出来るようになる	授業に引き続きジョブカードの作成を行う
9		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施(基本的対話スキルについて)	配布プリントを記入し次回提出
10		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施(自己表現スキルについて)	配布プリントを記入し次回提出
11		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施(社会的スキルについて)	配布プリントを記入し次回提出
12		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施(サービスマインドについて)	配布プリントを記入し次回提出
13		試験	コミュニケーションスキルアップ検定試験の受験	本日の試験で出来なかった部分を各自復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。		
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・キャリアプランシート・キャリアプラン作成補助シート・ジョブカード・学生サポートハンドブック				

科目名	キャリア教育(3)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	瀬戸香織 加藤将太
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	15 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。 キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、 「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	クラスのノームの意識付けを行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出
2		講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出
3		演習	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる	配布プリントを記入し次回提出
4		講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出
5		講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
6		演習	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出
7		講義	エンターテイナーとして活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
8		講義	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出
9		講義	エンターテインメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ	本日の感想をレポートにて提出
10		講義	「計画力」：計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
11		演習	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12		講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13		講義	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。		
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック				

科目名	キャリア教育(4)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	瀬戸香織 加藤将太
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	15 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。 キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、 「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	クラスのノームの意識付けを行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出
2		講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出
3		演習	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる	配布プリントを記入し次回提出
4		講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出
5		講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
6		演習	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出
7		講義	エンターテイナーとして活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
8		講義	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出
9		講義	エンターテインメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ	本日の感想をレポートにて提出
10		講義	「計画力」：計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
11		演習	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12		講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13		講義	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック				

科目名	キャリア教育(5)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	瀬戸香織 加藤将太
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	15 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。 キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、 「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	クラスのノームの意識付けを行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出
2		講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出
3		演習	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる	配布プリントを記入し次回提出
4		講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出
5		講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
6		演習	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出
7		講義	エンターテイナーとして活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
8		講義	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出
9		講義	エンターテインメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ	本日の感想をレポートにて提出
10		講義	「計画力」：計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
11		演習	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12		講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13		講義	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。		
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック				

科目名	キャリア教育(6)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	瀬戸香織 加藤将太
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	15 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。 キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、 「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	クラスのノームの意識付けを行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出
2		講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出
3		演習	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる	配布プリントを記入し次回提出
4		講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出
5		講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
6		演習	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出
7		講義	エンターテイナーとして活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
8		講義	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出
9		講義	エンターテインメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ	本日の感想をレポートにて提出
10		講義	「計画力」：計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
11		演習	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12		講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13		講義	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。		
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック				

科目名	キャリア教育(7)	必修 選択	必修	年次	4	担当教員	瀬戸香織 加藤将太
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	15 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。 キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、 「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	クラスのノームの意識付けを行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出
2		講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出
3		演習	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる	配布プリントを記入し次回提出
4		講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出
5		講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
6		演習	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出
7		講義	エンターテイナーとして活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
8		講義	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出
9		講義	エンターテインメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ	本日の感想をレポートにて提出
10		講義	「計画力」：計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
11		演習	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12		講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13		講義	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。		
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック				

科目名	キャリア教育(8)	必修 選択	必修	年次	4	担当教員	瀬戸香織 加藤将太
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	15 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	クラスのノームの意識付けを行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出
2		講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出
3		演習	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる	配布プリントを記入し次回提出
4		講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出
5		講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
6		演習	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出
7		講義	エンターテイナーとして活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
8		講義	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出
9		講義	エンターテインメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ	本日の感想をレポートにて提出
10		講義	「計画力」：計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
11		演習	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12		講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13		講義	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。		
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック				

科目名	Digital Fundation(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩尾 緒形
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	現代の芸能人・アーティストは、SNSの利用が「仕事」につながるケースが多くなってきている。この授業を通じて、正しいスキル・SNSの取り扱い・リテラシーを身に付け、これからの学生生活、そして卒業した後も、芸能界で生きていくためのITスキルを身につける。						
到達目標	パソコン(Mac)の操作ができるようになる。 インターネット・SNSをリテラシーを守り、取扱いながら自己プロデュースができるようになる。 プロフィール・音源・動画など、自分の芸能活動に役立つITスキルを身につけ、自身のスキルとして扱えるようになる。						
評価方法と基準	出席率100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	パソコンの起動方法と基礎知識① 各種ダウンロード、授業履修のための準備		授業の復習
2		講義・演習	パソコン基礎知識② Adobe・Macのアプリ(Keynote)		授業の復習
3		講義・演習	卓録について 収録機材と収録環境について		授業の復習
4		講義・演習	音声編集について		授業の復習
5		講義・演習	Photoshop① 基礎		授業の復習
6		講義・演習	Photoshop② 写真の修正		授業の復習
7		講義・演習	Photoshop③ サムネ		授業の復習
8		講義・演習	Photoshop④ サムネ		授業の復習
9		講義・演習	Premiere① 基礎・操作		授業の復習
10		講義・演習	Premiere② オーディションムービー(基礎編集)		授業の復習
11		講義・演習	Premiere③ オーディションムービー(基礎編集)		授業の復習
12		講義・演習	Premiere④ ショートカットなど(基礎編集)		授業の復習
13		講義・演習	Premiere⑤ まとめ(基礎編集)		授業の復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ		レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ		レポート提出
準備学習		時間外学習			
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	Digital Fundation(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩尾 緒形
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	現代の芸能人・アーティストは、SNSの利用が「仕事」につながるケースが多くなってきている。この授業を通じて、正しいスキル・SNSの取り扱い・リテラシーを身につけ、これからの学生生活、そして卒業した後も、芸能界で生きていくためのITスキルを身につける。						
到達目標	パソコン(Mac)の操作ができるようになる。 インターネット・SNSをリテラシーを守り、取扱いながら自己プロデュースができるようになる。 プロフィール・音源・動画など、自分の芸能活動に役立つITスキルを身につけ、自身のスキルとして扱えるようになる。						
評価方法と基準	出席率100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	Premiere⑤ YouTuber系動画・テロップ・キーフレーム	授業の復習
2		講義・演習	Premiere⑥ YouTuber系動画・テロップ・キーフレーム	授業の復習
3		講義・演習	Premiere⑦ YouTuber系動画・テロップ・キーフレーム	授業の復習
4		講義・演習	Premiere⑧ YouTuber系動画・テロップ・キーフレーム	授業の復習
5		講義・演習	Premiere⑨ 中間課題作成	授業の復習
6		講義・演習	Premiere⑩ 中間課題作成	授業の復習
7		講義・演習	Premiere⑪ 中間課題作成	授業の復習
8		講義・演習	illustrator① 基礎	授業の復習
9		講義・演習	illustrator② フライヤー作成	授業の復習
10		講義・演習	illustrator③ フライヤー作成	授業の復習
11		講義・演習	簡易CM制作① グリーンバック・マスク	授業の復習
12		講義・演習	簡易CM制作②	授業の復習
13		講義・演習	簡易CM制作③	授業の復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	クリエイション(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	SAE
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	米津玄師やMISIAのツアー、東京五輪開会式に出演。ミュージカル『ピーターパン』『INTO THE WOODS』やコンテンポラリーダンス公演(Co. Ruri Mito)への出演経験を持つ。映像・振付：ドラマ『パリピ孔明』に出演。近口本知彦の振付助手としてCMやMVに携わるほか、舞台の振付家としても活動。指導：専門学校の講師を務めるなど、育成にも注力。						
授業の学習 内容	ダンサーとして必要な技術だけではなく、一社会人として生活して行くのに必要な、コミュニケーションと自己理解と他者理解というところを、踊りを通して学びます。インプロヴィゼーションのワークでは、より個としてのコミュニケーションを密に取り、また、振り付け等を実施する時には、個を生かしつつもどう協調性を生むのかというアプローチを。そして振り付けなどのクリエイティブ側の観点や、知識も伝えて、多方面から踊り、表現についての理解を講師も含めて理解を深めて行くことで、しっかりと自立して行けるように取り組みます。						
到達目標	授業として与えられるものに対して、自発的に考え、個人の持つ感覚・思考をしっかりと自覚し確立していくこと。何が必要かを自分で考える力をつけること。言葉で人に伝え、対話を行えるようにし、コミュニケーションを他者としっかりと取る中で、自己理解と他者理解を深めていく。						
評価方法と基準	出席率80パーセント、定期テスト20パーセント						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	初回、同じクラスを進めていくメンバーとのコミュニケーションを会話と身体ととっていきます	
2		講義・演習	インプロのクロスフロアなどトレーニング	前回の注意点、振りの復習
3		講義・演習	インプロのクロスフロアなどトレーニングからソロを踊る	前回の注意点、振りの復習
4		講義・演習	フォローイングからインプロを学ぶ	前回の注意点、振りの復習
5		講義・演習	フォローイングからインプロを学ぶ	前回の注意点、振りの復習
6		講義・演習	フォローイングからインプロを学ぶ	前回の注意点、振りの復習
7		講義・演習	振り付けを作る	前回の注意点、振りの復習
8		講義・演習	振り付けを作る	前回の注意点、振りの復習
9		講義・演習	振り付けを作る	前回の注意点、振りの復習
10		講義・演習	映像を撮る	前回の注意点、振りの復習
11		講義・演習	映像を撮る	前回の注意点、振りの復習
12		講義・演習	テーマを持ってソロで即興を踊る	前回の注意点、振りの復習
13		講義・演習	テーマを持ってソロで即興を踊る	前回の注意点、振りの復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	クリエイション(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	SAE
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	米津玄師やMISIAのツアー、東京五輪開会式に出演。ミュージカル『ピーターパン』『INTO THE WOODS』やコンテンポラリーダンス公演(Co. Ruri Mito)への出演経験を持つ。映像・振付:ドラマ『パリピ孔明』に出演。辻口本知彦の振付助手としてCMやMVに携わるほか、舞台の振付家としても活動。指導:専門学校の講師を務めるなど、育成にも注力。						
授業の学習 内容	ダンサーとして必要な技術だけではなく、一社会人として生活して行くのに必要な、コミュニケーションと自己理解と他者理解というところを、踊りを通して学びます。インプロヴィゼーションのワークでは、より個としてのコミュニケーションを密に取り、また、振り付け等を実施する時には、個を生かしつつもどう協調性を生むのかというアプローチを。そして振り付けなどのクリエイティブ側の観点や、知識も伝えて、多方面から踊り、表現についての理解を講師も含めて理解を深めて行くことで、しっかりと自立して行けるように取り組めます。						
到達目標	授業として与えられるものに対して、自発的に考え、個人の持つ感覚・思考をしっかりと自覚し確立していくこと。何が必要かを自分で考える力をつけること。言葉で人に伝え、対話を行えるようにし、コミュニケーションを他者としっかりと取る中で、自己理解と他者理解を深めていく。						
評価方法と基準	出席率80パーセント、定期テスト20パーセント						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	今後の後期の目標や、やりたい自分の話をしっかりとした後、トレーニング	エクササイズ等の復習
2		講義・演習	インプロのクロスフロアなどトレーニングの後、ソロで即興を踊る	前回の注意点、振りの復習
3		講義・演習	グループ分けをして作品を作る1	前回の注意点、振りの復習
4		講義・演習	グループ分けをして作品を作る2	前回の注意点、振りの復習
5		講義・演習	作品発表	前回の注意点、振りの復習
6		講義・演習	講師の振り付けを踊る	前回の注意点、振りの復習
7		講義・演習	前週にやった振り付けの細かいこだわりを深めます	前回の注意点、振りの復習
8		講義・演習	振り付けを自分でアレンジしていく。角度や細かい手、顔などのディテール	前回の注意点、振りの復習
9		講義・演習	即興で踊る。という感覚と振り付けを踊る感覚の違いを探っていきます	前回の注意点、振りの復習
10		講義・演習	即興的に踊るように、振り付けをアレンジして踊ります。	前回の注意点、振りの復習
11		講義・演習	前の週からの振り付けを一度ビデオに撮り、自分でフィードバックします	前回の注意点、振りの復習
12		講義・演習	前の週の映像にカメラワークを足し、カメラワークを学びます。	前回の注意点、振りの復習
13		講義・演習	具体的に撮影に向けて、衣装や踊り方、撮り方を決めていきます	前回の注意点、振りの復習
14		講義・演習	授業内で撮影をしていきます。	前回の注意点、振りの復習
15		講義・演習	撮った映像作品を、LIVEverとして一人ずつ踊ります	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	フィジカル(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	軽部裕美
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	幼少よりダンスを始め、現在コンテンポラリーダンサー、指導者として活動。アカデミックな動きの中にも静と動における表現力の確かさと音楽性の高さが認められ国内外の振付家との創作活動を数多くするほか、新国立劇場への作品提供、客演ダンサーとして出演。						
授業の学習 内容	(1) すべてのジャンルのダンス、動きにも通用する身体の使い方を骨格ベースで学ぶ (2) セルフケアを取り入れながらより良いパフォーマンスができる身体をつくる						
到達目標	(1) ダンサーとして必要な解剖学の基礎を学ぶことで身体の使い方を知る (2) 自分の身体を知ることによってケガをしにくく、効率の良い動きができるようになる						
評価方法と基準	授業態度（出席率も含む） 50% 筆記試験 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基本的な解剖学基礎、用語を学ぶ	身体の部位の名前を覚える
2		講義・演習	骨格、筋肉について（自分の身体を感じる）	各部位の名前を自分の身体で覚える
3		講義・演習	ケガをしにくい身体の使い方（セルフケア、ストレッチ）	日常から姿勢、ケアを意識する
4		講義・演習	骨盤（動き、構造、機能について）	ブリエ、アイソレーションで骨盤を意識して動く
5		講義・演習	股関節（位置、どのように動くのか）	ブリエやタンジュの動きでどのように使っているか
6		講義・演習	背骨（構造、機能、体幹の動きについて）	身体の繋がりの中で動いているか
7		講義・演習	腹筋（腹筋の種類と働き）	腹筋の動きを意識して行う
8		講義・演習	膝（機能、構造、動きについて）	柔らかいブリエの動きができていますか
9		講義・演習	足（基盤としての足の構造、機能）	土台としての機能をしているか
10		講義・演習	腕（構造、動き、ポールドブラについて）	ポールドブラを正しく使えているか
11		講義・演習	呼吸（呼吸の仕組み、胸郭について）	自分がどのような呼吸をしているのかを感じる
12		講義・演習	前期試験	前期の授業内容を確認しておく
13		講義・演習	授業のまとめ（試験返却、答え合わせ）	理解できていないこと、質問等をまとめておく
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			基本的には復習を重視。授業で学んだことを聞いただけではなく、レッスンの中で自分の身体に落とし込むこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	フィジカル(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	軽部裕美
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	幼少よりダンスを始め、現在コンテンポラリーダンサー、指導者として活動。アカデミックな動きの中にも静と動における表現力の確かさと音楽性の高さが認められ国内外の振付家との創作活動を数多くするほか、新国立劇場への作品提供、客演ダンサーとして出演。						
授業の学習 内容	(1) すべてのジャンルのダンス、動きにも通用する解剖学を前期の骨格ベースから筋肉の動きへと発展させる (2) セルフケアを取り入れながら身体のコンディショニングの方法を学ぶ						
到達目標	(1) ダンサーとして必要な解剖学の知識を通し、動きへの理解を深める (2) 自分の身体を理解することで弱点の克服、強化などを自分自身で選択、実践する能力を高めることができるようになる						
評価方法と基準	授業態度（出席率も含む） 50% 筆記試験 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の復習	前期の授業内容を確認しておく
2		講義・演習	メンタルと身体の関係	イメージの力が身体にどのように関わっているか
3		講義・演習	下肢の筋肉①(骨盤底筋、股関節周りの筋肉)	プリエの動きが効率よくできているか
4		講義・演習	下肢の筋肉②(脚から足にかけての筋肉)	タンジュからバットマンで正しく使えているか
5		講義・演習	上肢の筋肉(腕を動かす筋肉)	ポールドブラを正しく使えているか
6		講義・演習	腹筋(腹筋を使った動き)	腹筋をどのように使っているか
7		講義・演習	効率的な呼吸(肋骨、肋間筋)	日常の呼吸と踊るときと日常の呼吸の違い
8		講義・演習	背筋について(背筋の種類と動き)	背筋を意識して動くときと身体はどう変化するのか
9		講義・演習	体幹の動き(3軸方向の動きの連動)	上半身の動きが効率よくできているか
10		講義・演習	首の動き(環椎、軸椎)	姿勢、ピルエットとの関わり
11		講義・演習	後期試験	前期・後期の授業内容を確認しておく
12		講義・演習	授業のまとめ(試験返却、答え合わせ)	理解できていないこと、質問等をまとめておく
13		講義・演習	1年間のまとめ	自分の課題を自分で考える
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		基本的には復習を重視。授業で学んだことを聞いただけではなくレッスンの中で自分の身体に落とし込むこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	リズムトレーニング(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 田中英輔
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位	
教員の略歴	スタントマン、テーマパークダンサーを経てさまざまなアーティストのツアーダンサーやレッスンをしている。					
授業の学習 内容	あらゆるダンスの基本のリズム、ステップを徹底的にやる事で振り付けやダンスの質感を上げる。反復練習によってダンサーに必要な体力をつけフィジカル向上も目指す。					
到達目標	基本ステップをマスターし(1日2~3種類のステップ)そのシルエットも意識しながら、習ったステップで遊べるようになる。(方向、緩急など)結果 質の高いダンサーになる。					
評価方法と基準	授業外学習20% 実技テスト40% 授業態度30% 出席率10%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		実習	UPのリズム STEP 3つ 振り付け	
2		実習	UPのリズム STEP 3つ 振り付け	
3		実習	UPのリズム STEP 3つ 振り付け	
4		実習	DOWNのリズム STEP 3つ 振り付け	
5		実習	DOWNのリズム STEP 3つ 振り付け	
6		実習	DOWNのリズム STEP 3つ 振り付け	
7		実習	FRONTのリズム STEP 3つ 振り付け	
8		実習	FRONTのリズム STEP 3つ 振り付け	
9		実習	FRONTのリズム STEP 3つ 振り付け	
10		実習	BACKのリズム STEP 3つ 振り付け	
11		実習	BACKのリズム STEP 3つ 振り付け	
12		実習	BACKのリズム STEP 3つ 振り付け	
13		実習	ALL MIX 長めの振りつけ 構成	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		覚えたステップを反復練習する		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	リズムトレーニング(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 田中英輔
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位	
教員の略歴	スタントマン、テーマパークダンサーを経てさまざまなアーティストのツアーダンサーやレッスンをしている。					
授業の学習 内容	あらゆるダンスの基本のリズム、ステップを徹底的にやる事で振り付けやダンスの質感を上げる。反復練習によってダンサーに必要な体力をつけフィジカル向上も目指す。					
到達目標	基本ステップをマスターし(1日2~3種類のステップ)そのシルエットも意識しながら、習ったステップで遊べるようになる。(方向、緩急など)結果 質の高いダンサーになる。					
評価方法と基準	授業外学習20% 実技テスト40% 授業態度30% 出席率10%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		実習	UPのリズム STEP 3つ 振り付け	
2		実習	UPのリズム STEP 3つ 振り付け	
3		実習	UPのリズム STEP 3つ 振り付け	
4		実習	DOWNのリズム STEP 3つ 振り付け	
5		実習	DOWNのリズム STEP 3つ 振り付け	
6		実習	DOWNのリズム STEP 3つ 振り付け	
7		実習	FRONTのリズム STEP 3つ 振り付け	
8		実習	FRONTのリズム STEP 3つ 振り付け	
9		実習	FRONTのリズム STEP 3つ 振り付け	
10		実習	BACKのリズム STEP 3つ 振り付け	
11		実習	BACKのリズム STEP 3つ 振り付け	
12		実習	BACKのリズム STEP 3つ 振り付け	
13		実習	ALL MIX 長めの振りつけ 構成	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		覚えたステップを反復練習する		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	日本舞踊(3)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	今安琴奈
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	2歳から子役として活動をはじめ、小学5年生から振付師として、中学1年生からは演出家として数多くの舞台制作にも携わる。幼少期より和装モデルとしても活動し、浴衣・着物・振袖の着付けを自身で行う。俳優としては時代劇にも数多く出演し、「現場で必要とされる和装の知識・着物の所作」講師としても稼働している。						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の民族衣装である浴衣・着物の着付けを学ぶ</li> <li>着物の基礎知識を学ぶ</li> <li>現場で必要とされる和装の知識/所作を学ぶ</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の民族衣装である浴衣・着物を自身で着られるようになる/人に着せられるようになる</li> <li>部分名称を理解し、訪問着/小紋/振袖などの違いを知り、たたみ方などの基礎力を身につける</li> <li>現場で最低限必要とされる所作や着物の扱い方を身につける</li> </ul>						
評価方法と基準	実技テストによる採点(自分で着る/人に着せる)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	浴衣を着るにあたり、必要なアイテムと役割を知る たたみ方を知る	必要最低限の小物の名前を調べる
2		演習	浴衣を着る/帯:貝の口   所作:立ち方歩き方	帯の結び方に興味を持つ
3		演習	浴衣を着る/帯:文庫結   所作:階段の上り下り 車の乗車方法	貝の口に慣れる
4		演習	着物を着るにあたり、必要なアイテムと役割を知る	代表的な11種類えお調べておく
5		演習	着物を着る/帯:貝の口   所作:着崩れの直し方	貝の口に慣れる
6		演習	着物を着る/帯:文庫結   知識:現場で必要なアイテム	文庫むすびを練習する
7		演習	着物を着る/帯:角出し   知識:履き物の種類	履き物の種類を調べる
8		演習	着物を着る/帯:名古屋帯 一重太鼓   着物でのポージング	ポージングを考える/着物が綺麗に見える角度
9		演習	着物を着る・人に着付ける   帯:名古屋帯 一重太鼓	程よく締め付ける力加減を身につける
10		演習	着物を着る/帯:袋帯 二重太鼓	帯の柄を調べる
11		演習	着物を着る・人に着付ける   帯:袋帯 二重太鼓	着崩れないように着る
12		試験・演習	着物を着る・人に着付ける   帯:自由	授業で学んだことを復習
13		演習	フィードバック   知識の確認	新たな目標設定をする
準備学習 時間外学習		着物や、和装に興味を持ち「着てみたい着物」「小物合わせ」などを調べる		
【使用教科書・教材・参考書】				
半襦袢・裾よけorステコ(リラココ)・腰紐(4本)・足袋・浴衣(あれば)・帯(あれば)着付け小物セットがあれば持参ください				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ライブゼミ(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鮎川麻弥
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 屋間部一						
教員の略歴	1984年にアニメ『重戦機エルガイム』主題歌でデビュー以降、『機動戦士Zガンダム』など多数のアニメ主題歌やCMソングを手がけ、20枚以上のアルバムをリリース。透明感と温かみのある声質で200本以上のCMソングを歌唱し、国内外のアニソン公演にも積極的に参加。2019年にはデビュー35周年記念アルバムとツアーを実施し、ガンダムソングの実力派ディーヴァとしても注目を集める。現在はアーティスト活動と並行し、洗足学園音楽大学などでボーカル講師を務める。						
授業の学習 内容	ソルアーティストとしてのライブパフォーマンスを研究および習得する。各自選択し、ステージ上での歌唱(基本発声・音程・リズム・表現等)レクチャーを受ける。 自身の個性や方向性を考えながら、ステージングや衣裳などセルフプロデュースする。 また、ライブの進行や、スタッフとのコミュニケーションも学び、お客様はもちろん、スタッフや共演者からも愛されるアーティストになるための人間力も学ぶ。アーティストとしての自我育成にも努めていく。						
到達目標	セルフプロデュースでライブを行えるアーティストを目指し、歌唱及びステージングの技術やアーティスト感性を持てるようになる。 学期末に音楽テクノロジー科協力のもと、本式のライブを行い、動員・内容共に成功させる。 卒業後に、いちアーティストとしてどう活躍していくかのビジョンを持ち始められることを目指す。						
評価方法と基準	平常点(出席・授業態度) 50% 最終授業・ライブパフォーマンス 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	ガイダンス～授業の流れ、セルフプロデュースについて、選曲	選曲をした楽曲のINST音源・歌詞(2部)用意
2		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
3		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
4		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
5		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
6		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 暗譜にてパフォーマンス	もらったアドバイスに対しての練習 暗譜をしてくる
7		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 衣裳チェック	もらったアドバイスに対しての練習 衣裳を準備する
8		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ステージング・表情チェック	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
9		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ステージング・表情チェック	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
10		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 仕上げ	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
11		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 仕上げ	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
12		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ライブ RH	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習・本番に向けた準備
13		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ライブ RH	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習・本番に向けた準備
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
Keyboard、マイク、姿見鏡、iPad・持参音源、歌詞カード(2部用意)、筆記用具、				

科目名	ライブゼミ(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鮎川麻弥
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 屋間部一						
教員の略歴	1984年にアニメ『重戦機エルガイム』主題歌でデビュー以降、『機動戦士Zガンダム』など多数のアニメ主題歌やCMソングを手がけ、20枚以上のアルバムをリリース。透明感と温かみのある声質で200本以上のCMソングを歌唱し、国内外のアニソン公演にも積極的に参加。2019年にはデビュー35周年記念アルバムとツアーを実施し、ガンダムソングの実力派ディーヴァとしても注目を集める。現在はアーティスト活動と並行し、洗足学園音楽大学などでボーカル講師を務める。						
授業の学習 内容	ソルアーティストとしてのライブパフォーマンスを研究および習得する。各自選択し、ステージ上での歌唱(基本発声・音程・リズム・表現等)レクチャーを受ける。 自身の個性や方向性を考えながら、ステージングや衣裳などセルフプロデュースする。 また、ライブの進行や、スタッフとのコミュニケーションも学び、お客様はもちろん、スタッフや共演者からも愛されるアーティストになるための人間力も学ぶ。アーティストとしての自我育成にも努めていく。						
到達目標	セルフプロデュースでライブを行えるアーティストを目指し、歌唱及びステージングの技術やアーティスト感性を持てるようになる。 学期末に音楽テクノロジー科協力のもと、本式のライブを行い、動員・内容共に成功させる。 卒業後に、いちアーティストとしてどう活躍していくかのビジョンを持ち始められることを目指す。						
評価方法と基準	平常点(出席・授業態度) 50% 最終授業・ライブパフォーマンス 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	ガイダンス～授業の流れ、セルフプロデュースについて、選曲	選曲をした楽曲のINST音源・歌詞(2部)用意
2		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
3		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
4		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
5		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
6		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 暗譜にてパフォーマンス	もらったアドバイスに対しての練習 暗譜をしてくる
7		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 衣裳チェック	もらったアドバイスに対しての練習 衣裳を準備する
8		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ステージング・表情チェック	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
9		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ステージング・表情チェック	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
10		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 仕上げ	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
11		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 仕上げ	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
12		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ライブ RH	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習・本番に向けた準備
13		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ライブ RH	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習・本番に向けた準備
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
Keyboard、マイク、姿見鏡、iPad・持参音源、歌詞カード(2部用意)、筆記用具、				

科目名	オーディション対策(1)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾真実
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	卒業後の進路となる各プロダクションへ所属するため、また様々な作品へ出演するためのオーディションを受ける際のマナーや服装、メイクなどを学ぶ。また、プロフィールシートの作り方やオーディションでもっとも大事とされる自己PRをそれぞれの個性を活かし指導。各種オーディションで、自分の個性や持っている力を発揮し、合格出来るポイントを学ぶ。						
到達目標	自分の個性や特徴を知り、自信を持ってオーディションに臨み、自己PR出来るようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	プロフィールシート見直し	プロフィールシートの内容を見直す
2		講義・演習	模擬オーディションCM1 自己PRのコツ	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
3		講義・演習	模擬オーディションCM2 企業研究を行うこと	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
4		講義・演習	模擬オーディションテレビドラマ1 自己PRのコツ	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
5		講義・演習	模擬オーディションテレビドラマ2 作品・監督・共演者について知る	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
6		講義・演習	模擬オーディション映画1 自己PRのコツ	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
7		講義・演習	模擬オーディション映画2 作品・監督・共演者について知る	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
8		講義・演習	模擬オーディション舞台 作品・演出家について知る/2.5次元ミュージカルについて	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
9		講義・演習	模擬オーディションアニメ 作品・音響監督・共演者について知る	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
10		講義・演習	新人発掘に向けてのパフォーマンス作り1 自己PR30秒・パフォーマンス30秒作成	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
11		講義・演習	新人発掘に向けてのパフォーマンス作り2 入りたい事務所や劇団に合わせた内容作り	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
12		講義・演習	新人発掘に向けてのパフォーマンス作り2 入りたい事務所や劇団に合わせた内容作り	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
13		講義・演習	新人発掘に向けてのパフォーマンス作り 卒業後のオーディションへの向き合い方について	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			オーディションを受ける予定での服装・課題の準備。体調管理。	
【使用教科書・教材・参考書】				
毎回オーディションを意識した服装やメイクで授業へ参加。				

科目名	ミュージカルプロジェクト(1)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	瀬戸香織
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ミュージカルの構造理解、台本と楽曲分析、演出意図の読み取りなどに重点を置きつつ、実技との接続も後半に少し取り入れます						
到達目標	ミュージカル作品を構造的・演劇的に分析できる 歌詞・台詞からキャラクターや状況の背景を読み取れる ミュージカルのジャンルや演出スタイルを比較できる 分析に基づいた表現設計(演技設計)の基礎的な思考ができる						
評価方法と基準	出席率 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス/ゼミの目的と視点の共有	
2		講義・演習	ミュージカルの歴史概観と進化	
3		講義・演習	ミュージカルの三要素：演技・音楽・ダンスの関係	
4		講義・演習	歌詞の機能①「語る歌」と「感情の歌」	
5		講義・演習	台本の読み解き方①：シーンの構造と登場人物の関係	
6		講義・演習	キャラクターアークと楽曲配置の関係	
7		講義・演習	歌詞の機能②「内面化」と「共有」	
8		講義・演習	演出視点から見るミュージカル（舞台美術・照明・音響）	
9		講義・演習	台本の読み解き方②：サブテキストと間	
10		講義・演習	ミュージカルジャンル研究①：クラシカルと現代的作品の違い	
11		講義・演習	ミュージカルジャンル研究②：社会性とファンタジーの扱い	
12		講義・演習	ミュージカルの文化的位置づけ	
13		講義・演習	まとめとふりかえり：理論から実践への橋渡し	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	韓国語(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 李美姬 徐慧精
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位	
教員の略歴						
授業の学習 内容	1) ハングルの表記を覚える。 2) ペアやグループで会話の練習をする。 3) 韓国の文化について学ぶ。					
到達目標	1) 会話の練習を通して、簡単な挨拶や自己紹介ができるようになる。 2) 言葉を学ぶことで、韓国の社会や文化に対する関心を高める。					
評価方法と基準	1) 定期試験 60% 2) 出席 10% 3) 授業準備 10% 4) 授業態度 10% 5) 課題 10%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・発表	自己紹介&個人目標設定	ハングルの復習を行う
2		講義・発表	ハングルの理解を深める	文字書いて読める復習を行う
3		講義・発表	教科書の勉強	ワークブックで復習
4		講義・発表	リスニング練習・ペアで話す練習	好きな勉強法で楽しく復習
5		講義・発表	発音をよく聞いてマネする	繰り返して聞いてマネする
6		講義・発表	韓国の地図・文化を知る	教科書の内容を復習
7		講義・発表	友達・趣味・関心事について	作文を練習
8		講義・発表	将来・食べ物について	考えて作文を書く
9		講義・発表	否定・賛成表現	日常に使える表現を調べる
10		講義・発表	一人ずつ発表	自分の声を録音
11		講義・発表	形容詞・過去形	出来事について書く
12		講義・発表	未来形・可能形	将来にやりたいことを考える
13		講義・発表	作文・スピーチ	テスト準備
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		反復練習を通して身につける		
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級I&II ワークブック、プリント				
東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校				

科目名	韓国語(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 李美姬 徐慧精
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位	
教員の略歴						
授業の学習 内容	1) 韓国語のスキルをアップする。2) ペアやグループで会話の練習をする。3) 韓国の社会や文化について学ぶ。					
到達目標	1) 適切なコミュニケーションができるようになる。2) 韓国の社会や文化について理解を深める。3) 意思を伝達することができるようになる。					
評価方法と基準	1) 定期試験 60% 2) 出席 10% 3) 授業準備 10% 4) 授業態度 10% 5) 課題 10%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・発表	前期の復習をする。	復習する。
2		講義・発表	TOPIK	TOPIKの練習する。
3		講義・発表	설날とお正月	長文の作文をする。
4		講義・発表	韓国と日本の違い	会話の練習をする。
5		講義・発表	TOPIK	TOPIKの練習する。
6		講義・発表	집들이について	招待状を書く。
7		講義・発表	CDを聞く。	聴いて書く。
8		講義・発表	学生としての生活について	長文の作文をする。
9		講義・発表	キーボードの使い方	ハングルでメールを送る。
10		講義・発表	定期試験	復習をする。
11		講義・発表	最新のニュース	ニュースの内容を書く。
12		講義・発表	自分将来について	夢の作文
13		講義・発表	一年間の振り返る。	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		反復練習を通して身につける		
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級I&II ワークブック、プリント				
東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校				

科目名	舞踊舞台史(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	目井 浩崇
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	舞台の歴史の講義と、グループ発表を通して、舞台の歴史を学ぶ。 演劇の歴史を学び、俳優・声優として最低限必要な教養を身につける。 また、芸能界で常識とされている舞台の知識や用語も学ぶ。						
到達目標	舞台の歴史を全体的に網羅し、その上で自分が好きな演劇を見つけられるようになる。 芸能界で活躍するための最低限の知識・教養を身につけ、自分のスキルとして扱えるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	舞台の歴史の流れの軸を理解する	
2		講義・演習	古代ギリシア演劇～中世	古代ギリシア演劇についてグループ研究し、レポートにまとめる
3		講義・演習	古代ギリシア演劇の研究発表	他グループの発表を聞き、自分たちの感想をレポートにまとめる
4		講義・演習	古代ギリシア演劇を映像で鑑賞する	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
5		講義・演習	シェイクスピアの作品に触れる	シェイクスピア作品についてグループ研究し、レポートにまとめる
6		講義・演習	シェイクスピア演劇の研究発表	グループでの発表をレポートにまとめる
7		講義・演習	シェイクスピア演劇を映像で鑑賞する	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
8		講義・演習	フランス演劇の台頭 三単一の一致の法則 スペイン演劇、ロシア演劇のリアリズム	グループでの発表をレポートにまとめる
9		講義・演習	フランスのシュールレアリスム演劇、ミュージカル演劇、ピンター	グループで「シュールレアリスム演劇」か「ロシア演劇」の戯曲を選び一部発表できるよう準備する
10		講義・演習	シュールレアリスム演劇かロシア演劇での発表	グループでの発表をレポートにまとめる
11		講義・演習	日本の古典演劇、能、狂言、歌舞伎、落語	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
12		講義・演習	日本演劇の文明開化 新劇 岸田國士	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
13		講義・演習	アンゴラ演劇・近代演劇について	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
教材：舞台舞踊史)				

科目名	舞踊舞台史(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	目井 浩崇
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	舞台の歴史の講義と、グループ発表を通して、舞台の歴史を学ぶ。 演劇の歴史を学び、俳優・声優として最低限必要な教養を身につける。 また、芸能界で常識とされている舞台の知識や用語も学ぶ。						
到達目標	舞台の歴史を全体的に網羅し、その上で自分が好きな演劇を見つけられるようになる。 芸能界で活躍するための最低限の知識・教養を身につけ、自分のスキルとして扱えるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	舞台の歴史の流れの軸を理解する	
2		講義・演習	古代ギリシア演劇～中世	古代ギリシア演劇についてグループ研究し、レポートにまとめる
3		講義・演習	古代ギリシア演劇の研究発表	他グループの発表を聞き、自分たちの感想をレポートにまとめる
4		講義・演習	古代ギリシア演劇を映像で鑑賞する	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
5		講義・演習	シェイクスピアの作品に触れる	シェイクスピア作品についてグループ研究し、レポートにまとめる
6		講義・演習	シェイクスピア演劇の研究発表	グループでの発表をレポートにまとめる
7		講義・演習	シェイクスピア演劇を映像で鑑賞する	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
8		講義・演習	フランス演劇の台頭 三単一の一致の法則 スペイン演劇、ロシア演劇のリアリズム	グループでの発表をレポートにまとめる
9		講義・演習	フランスのシュールレアリスム演劇、ミュージカル演劇、ピンター	グループで「シュールレアリスム演劇」か「ロシア演劇」の戯曲を選び一部発表できるよう準備する
10		講義・演習	シュールレアリスム演劇かロシア演劇での発表	グループでの発表をレポートにまとめる
11		講義・演習	日本の古典演劇、能、狂言、歌舞伎、落語	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
12		講義・演習	日本演劇の文明開化 新劇 岸田國士	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
13		講義・演習	アンゴラ演劇・近代演劇について	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
教材：舞台舞踊史)				

科目名	著作権(1)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	藤貴
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	エンタメ業界に就職する上で最低限必要になる法的知識						
到達目標	①プロや社会人になる上で、権利や契約がいかに重要であるかを知る。 ②エンタメ業界において、絶対にやってはいけないこと、気を付けなければならないこと等を知る。 ③適切なタイミングで、適切な人に、相談できるような感覚を身につける。						
評価方法と基準	出席率及び授業態度80%、テスト20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	著作権の基礎(1)～著作物って何だろう?～	授業の復習
2		講義・演習	著作権の基礎(2)～著作権ってどんな権利?～	授業の復習
3		講義・演習	違反になるケース～何が盗作になるの?～	授業の復習
4		講義・演習	違反したら犯罪!～海賊版って何?～	授業の復習
5		講義・演習	著作者人格権って何だろう?～替え歌っていいの?～	授業の復習
6		講義・演習	著作隣接権って何だろう?～ライブ配信アプリでカラオケ配信してもいいの?～	授業の復習
7		講義・演習	コピーとダウンロード～音楽ダウンロードは違法?～	授業の復習
8		講義・演習	写りこみ～写真に人や絵が写りこんだらダメ?～	授業の復習
9		講義・演習	著作物のライセンス～フリー素材ってホントにフリー?～	授業の復習
10		講義・演習	音楽著作権の世界～JASRACってどんな団体?～	授業の復習
11		講義・演習	契約条件～契約書ってホントにおそろしい?～	授業の復習
12		テスト	基礎知識の習得度の確認	授業の復習
13		講評	基礎知識の習得度の確認	授業の復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	著作権(2)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	藤貴
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	エンタメ業界に就職する上で最低限必要になる法的知識						
到達目標	①プロや社会人になる上で、権利や契約がいかに重要であるかを知る。 ②エンタメ業界において、絶対にやってはいけないこと、気を付けなければいけないこと等を知る。 ③適切なタイミングで、適切な人に、相談できるような感覚を身につける。						
評価方法と基準	出席率及び授業態度80%、テスト20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	著作権の基礎(1)～著作物って何だろう？～	授業の復習
2		講義・演習	著作権の基礎(2)～著作権ってどんな権利？～	授業の復習
3		講義・演習	違反になるケース～何が盗作になるの？～	授業の復習
4		講義・演習	違反したら犯罪！？～海賊版って何？～	授業の復習
5		講義・演習	著作者人格権って何だろう？～替え歌っていいの？～	授業の復習
6		講義・演習	著作隣接権って何だろう？～ライブ配信アプリでカラオケ配信してもいいの？～	授業の復習
7		講義・演習	コピーとダウンロード～音楽ダウンロードは違法？～	授業の復習
8		講義・演習	写りこみ～写真に人や絵が写りこんだらダメ？～	授業の復習
9		講義・演習	著作物のライセンス～フリー素材ってホントにフリー？～	授業の復習
10		講義・演習	音楽著作権の世界～JASRACってどんな団体？～	授業の復習
11		講義・演習	契約条件～契約書ってホントにおそろしい？～	授業の復習
12		テスト	基礎知識の習得度の確認	授業の復習
13		講評	基礎知識の習得度の確認	授業の復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Global Communication(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	Anthony Matt 片岡 平山
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、 日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス
2		講義・演習	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス
3		講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	オンラインプラクティス
4		講義・演習	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	オンラインプラクティス
5		講義・演習	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス
6		講義・演習	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
7		講義・演習	継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス
8		講義・演習	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる 明確な説明をお願い出来るようになる	オンラインプラクティス
9		講義・演習	頻度について質問出来るようになる 頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる 値段を説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
10		講義・演習	食べ物について質問出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文出来るようになる	オンラインプラクティス
11		講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
12		講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
13		講義・演習	復習	オンラインプラクティス
14		講義・演習	定期試験	オンラインプラクティス
15		講義・演習	振り返り	オンラインプラクティス
準備学習 時間外学習		自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Global Communication(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	Anthony Matt 片岡 平山
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥づかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス
2		講義・演習	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス
3		講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	オンラインプラクティス
4		講義・演習	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	オンラインプラクティス
5		講義・演習	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス
6		講義・演習	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
7		講義・演習	継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス
8		講義・演習	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる 明確な説明をお願い出来るようになる	オンラインプラクティス
9		講義・演習	頻度について質問出来るようになる 頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる 値段を説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
10		講義・演習	食べ物について質問が出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文出来るようになる	オンラインプラクティス
11		講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
12		講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
13		講義・演習	復習	オンラインプラクティス
14		講義・演習	定期試験	オンラインプラクティス
15		講義・演習	振り返り	オンラインプラクティス
準備学習 時間外学習		自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	クリエイション(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	KYO-HEY
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	*実務経験(Dance & Vocal) : WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り 2018年9月 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップアルバム・日本・6位) 2019年 ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催 2021年6月 2ndアルバム「Inside」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップアルバム・日本1位) 2021年10月 「Lovely Place」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップアルバム・日本2位) 2022年8月 NY Apollo Theater Amateur Night 出演 (2018年4月～NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行なっている。)						
授業の学習内容	①ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。 ②ヴォーカルとダンスの科目に関係し、その両方を同時に行えるようになスキルを身につける。 ③自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドを高め習得する。 ④腹式呼吸や発声のメカニズムを学び、踊っても歌がブレない身体作りや両立させる為の体の使い方等を、作品作りを通して向上させる。						
到達目標	ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上させる。						
評価方法と基準	・課題成果「出席・授業態度」:40%・実技試験:60%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	個人目標設定を行う	
2		演習	横隔膜を意識した腹式呼吸が出来るようになる	次の講義までに復習を要する
3		演習	マイクテクニック(声の乗せ方)を知る	次の講義までに復習を要する
4		演習	リズムとグループの仕組みを知る	次の講義までに復習を要する
5		演習	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる(体重移動)	次の講義までに復習を要する
6		演習	簡単な動きをつけた時の体の使い方(歌唱)を知る	次の講義までに復習を要する
7		演習	簡単なステップをつけた時の体の使い方(歌唱)を知る	次の講義までに復習を要する
8		演習	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる(リズムを意識して振り付けを行える)	次の講義までに復習を要する
9		演習	振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを行う	次の講義までに復習を要する
10		演習	ステージパフォーマンスの流れを知る	次の講義までに復習を要する
11		演習	振り付け、構成付き歌唱パフォーマンスを行うことができる	次の講義までに復習を要する
12		演習	試験	
13		演習	試験総括(改善点を知る)	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		・パフォーマンスをする楽曲は歌詞を暗記して来ること ・歌詞をノートに書いて持って来ること		
【使用教科書・教材・参考書】				
iPad(カラオケ音源)、ワイヤレスマイク、ダミーマイク、キーボード、スニーカー				

科目名	クリエイション(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	KYO-HEY
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	*実務経験(Dance & Vocal) : WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り 2018年9月 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップアルバム・日本・6位) 2019年 ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催 2021年6月 2ndアルバム「Inside」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップアルバム) 2021年10月 「Lovely Place」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップアルバム・日本2位) 2022年8月 NY Apollo Theater Amateur Night 出演 (2018年4月～NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行なっている。)						
授業の学習内容	①ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。 ②ヴォーカルとダンスの科目に関係し、その両方を同時に行えるようになスキルを身につける。 ③自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドを高め習得する。 ④腹式呼吸や発声のメカニズムを学び、踊っても歌がブレない身体作りや両立させる為の体の使い方等を、作品作りを通して向上させる。						
到達目標	ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上させる。						
評価方法と基準	・課題成果「出席・授業態度」:40%・実技試験:60%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	歌唱時のフォームを意識することが出来る	次の講義までに復習を要する
2		演習	リズムを持続したまま歌唱パフォーマンスが出来る	次の講義までに復習を要する
3		演習	リズム+グループを持続したまま歌唱パフォーマンスが出来る	次の講義までに復習を要する
4		演習	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる(アイソレーション、ポップ、フレックス)	次の講義までに復習を要する
5		演習	共鳴(胸部)について理解する	次の講義までに復習を要する
6		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが出来る	次の講義までに復習を要する
7		演習	歌唱パフォーマンス時の体のバランスを自分自身で整えることができる	次の講義までに復習を要する
8		演習	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる(アイソレーション、ストップ、エアポーズ)	次の講義までに復習を要する
9		演習	自分で振り付け、ステージパフォーマンスを考えることができる	次の講義までに復習を要する
10		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを行うことができる	次の講義までに復習を要する
11		演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める	次の講義までに復習を要する
12		演習	試験	
13		演習	試験総括(改善点を知る)	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		・パフォーマンスをする楽曲は歌詞を暗記して来ること ・歌詞をノートに書いて持って来ること		

【使用教科書・教材・参考書】  
iPad(カラオケ音源)、ワイヤレスマイク、ダミーマイク、キーボード、スニーカー

科目名	ライブゼミ(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	鮎川麻弥
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	1984年にアニメ『重戦機エルガイム』主題歌でデビュー以降、『機動戦士Zガンダム』など多数のアニメ主題歌やCMソングを手がけ、20枚以上のアルバムをリリース。透明感と温かみのある声質で200本以上のCMソングを歌唱し、国内外のアニソン公演にも積極的に参加。2019年にはデビュー35周年記念アルバムとツアーを実施し、ガンダムソングの実力派ディーヴァとしても注目を集める。現在はアーティスト活動と並行し、洗足学園音楽大学などでボーカル講師を務める。						
授業の学習 内容	ソロアーティストとしてのライブパフォーマンスを研究および習得する。各自選択し、ステージ上での歌唱(基本発声・音程・リズム・表現等)レクチャーを受ける。 自身の個性や方向性を考えながら、ステージングや衣裳などセルフプロデュースする。 また、ライブの進行や、スタッフとのコミュニケーションも学び、お客様はもちろん、スタッフや共演者からも愛されるアーティストになるための人間力も学ぶ。アーティストとしての自我育成にも努めていく。						
到達目標	セルフプロデュースでライブを行えるアーティストを目指し、歌唱及びステージングの技術やアーティスト感性を持てるようになる。 学期末に音楽テクノロジー科協力のもと、本式のライブを行い、動員・内容共に成功させる。 卒業後に、いちアーティストとしてどう活躍していくかのビジョンを持ち始められることを目指す。						
評価方法と基準	平常点(出席・授業態度) 50% 最終授業・ライブパフォーマンス 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	ガイダンス～授業の流れ、セルフプロデュースについて、選曲	選曲をした楽曲のINST音源・歌詞(2部)用意
2		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対する練習
3		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対する練習
4		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対する練習
5		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対する練習
6		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 暗譜にてパフォーマンス	もらったアドバイスに対する練習 暗譜をしてくる
7		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 衣裳チェック	もらったアドバイスに対する練習 衣裳を準備する
8		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ステージング・表情チェック	もらったアドバイスに対する練習 ステージング練習
9		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ステージング・表情チェック	もらったアドバイスに対する練習 ステージング練習
10		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 仕上げ	もらったアドバイスに対する練習 ステージング練習
11		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 仕上げ	もらったアドバイスに対する練習 ステージング練習
12		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ライブ RH	もらったアドバイスに対する練習 ステージング練習・本番に向けた準備
13		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ライブ RH	もらったアドバイスに対する練習 ステージング練習・本番に向けた準備
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 Keyboard、マイク、姿見鏡、iPad・持参音源、歌詞カード(2部用意)、筆記用具、				

科目名	ライブゼミ(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	鮎川麻弥
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	1984年にアニメ『重戦機エルガイム』主題歌でデビュー以降、『機動戦士Zガンダム』など多数のアニメ主題歌やCMソングを手がけ、20枚以上のアルバムをリリース。透明感と温かみのある声質で200本以上のCMソングを歌唱し、国内外のアニソン公演にも積極的に参加。2019年にはデビュー35周年記念アルバムとツアーを実施し、ガンダムソングの実力派ディーヴァとしても注目を集める。現在はアーティスト活動と並行し、洗足学園音楽大学などでボーカル講師を務める。						
授業の学習 内容	ソロアーティストとしてのライブパフォーマンスを研究および習得する。各自選曲し、ステージ上での歌唱(基本発声・音程・リズム・表現等)レクチャーを受ける。 自身の個性や方向性を考えながら、ステージングや衣裳などセルフプロデュースする。 また、ライブの進行や、スタッフとのコミュニケーションも学び、お客様はもちろん、スタッフや共演者からも愛されるアーティストになるための人間力も学ぶ。アーティストとしての自我育成にも努めていく。						
到達目標	セルフプロデュースでライブを行えるアーティストを目指し、歌唱及びステージングの技術やアーティスト感性を持てるようになる。 学期末に音楽テクノロジー科協力のもと、本式のライブを行い、動員・内容共に成功させる。 卒業後に、いちアーティストとしてどう活躍していくかのビジョンを持ち始められることを目指す。						
評価方法と基準	平常点(出席・授業態度) 50% 最終授業・ライブパフォーマンス 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	ガイダンス～授業の流れ、セルフプロデュースについて、選曲	選曲をした楽曲のINST音源・歌詞(2部)用意
2		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対する練習
3		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対する練習
4		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対する練習
5		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対する練習
6		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 暗譜にてパフォーマンス	もらったアドバイスに対する練習 暗譜をしてくる
7		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 衣裳チェック	もらったアドバイスに対する練習 衣裳を準備する
8		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ステージング・表情チェック	もらったアドバイスに対する練習 ステージング練習
9		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ステージング・表情チェック	もらったアドバイスに対する練習 ステージング練習
10		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 仕上げ	もらったアドバイスに対する練習 ステージング練習
11		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 仕上げ	もらったアドバイスに対する練習 ステージング練習
12		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ライブ RH	もらったアドバイスに対する練習 ステージング練習・本番に向けた準備
13		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ライブ RH	もらったアドバイスに対する練習 ステージング練習・本番に向けた準備
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
Keyboard、マイク、姿見鏡、iPad・持参音源、歌詞カード(2部用意)、筆記用具、				

科目名	日本舞踊(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	今安琴奈
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	2歳から子役として活動をはじめ、小学5年生から振付師として、中学1年生からは演出家として数多くの舞台制作にも携わる。幼少期より和装モデルとしても活動し、浴衣・着物・振袖の着付けを自身で行う。俳優としては時代劇にも数多く出演し、「現場で必要とされる和装の知識・着物の所作」講師としても稼働している。						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の民族衣装である浴衣・着物の着付けを学ぶ</li> <li>着物の基礎知識を学ぶ</li> <li>現場で必要とされる和装の知識/所作を学ぶ</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の民族衣装である浴衣・着物を自身で着られるようになる/人に着せられるようになる</li> <li>部分名称を理解し、訪問着/小紋/振袖などの違いを知り、たたみ方などの基礎力を身につける</li> <li>現場で最低限必要とされる所作や着物の扱い方を身につける</li> </ul>						
評価方法と基準	実技テストによる採点(自分で着る/人に着せる)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	浴衣を着るにあたり、必要なアイテムと役割を知る たたみ方を知る	必要最低限の小物の名前を調べる
2		演習	浴衣を着る/帯:貝の口   所作:立ち方歩き方	帯の結び方に興味を持つ
3		演習	浴衣を着る/帯:文庫結   所作:階段の上り下り 車の乗車方法	貝の口に慣れる
4		演習	着物を着るにあたり、必要なアイテムと役割を知る	代表的な11種類えお調べておく
5		演習	着物を着る/帯:貝の口   所作:着崩れの直し方	貝の口に慣れる
6		演習	着物を着る/帯:文庫結   知識:現場で必要なアイテム	文庫むすびを練習する
7		演習	着物を着る/帯:角出し   知識:履き物の種類	履き物の種類を調べる
8		演習	着物を着る/帯:名古屋帯 一重太鼓   着物でのポージング	ポージングを考える/着物が綺麗に見える角度
9		演習	着物を着る・人に着付ける   帯:名古屋帯 一重太鼓	程よく締め付ける力加減を身につける
10		演習	着物を着る/帯:袋帯 二重太鼓	帯の柄を調べる
11		演習	着物を着る・人に着付ける   帯:袋帯 二重太鼓	着崩れないように着る
12		試験・演習	着物を着る・人に着付ける   帯:自由	授業で学んだことを復習
13		演習	フィードバック   知識の確認	新たな目標設定をする
準備学習 時間外学習		着物や、和装に興味を持ち「着てみたい着物」「小物合わせ」などを調べる		
【使用教科書・教材・参考書】				
半襦袢・裾よけorステコ(リラココ)・腰紐(4本)・足袋・浴衣(あれば)・帯(あれば)着付け小物セットがあれば持参ください				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	セルフマネジメント(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	実由
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	ラジオDJ, イベントMC, ナレーター, TVバラエティー, ドラマ, 舞台, 雑誌, CMへの出演。1995年～現在						
授業の学習 内容	卒業後の進路となる各プロダクションへ所属するため, また様々な作品へ出演するためのオーディションを受ける際のマナーや服装, メイクなどを学ぶ。また, プロフィールシートの作り方やオーディションでもっとも大事とされる自己PRをそれぞれの個性を活かし指導。各種オーディションで, 自分の個性や持っている力を発揮し, 合格出来るポイントを学ぶ						
到達目標	自分の個性や特徴を知り, 自信を持ってオーディションに臨み, 自己PR出来るようになる。また, 実際のオーディションで出された課題にも対応できる力を身につける。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	プロフィールシート見直し	プロフィールの内容を見直し, ブラッシュアップ。
2		講義・演習	自己PR60秒おさらい	模擬オーディションに向けたPRを作る
3		講義・演習	自己PR60秒おさらい	模擬オーディションに向けたPRを作る
4		講義・演習	自己PR60秒おさらい	模擬オーディションに向けたPRを作る
5		講義・演習	模擬オーディション CM	オーディション内容に適した自己PRや服装準備
6		講義・演習	模擬オーディション 映画	オーディション内容に適した自己PRや服装準備
7		講義・演習	模擬オーディション テレビドラマ	オーディション内容に適した自己PRや服装準備
8		講義・演習	模擬オーディション 舞台	オーディション内容に適した自己PRや服装準備
9		講義・演習	模擬オーディション アニメ	オーディション内容に適した自己PRや服装準備
10		講義・演習	新人発掘に向けての動画パフォーマンス作り	新人発掘に向けてのパフォーマンスを考える
11		講義・演習	新人発掘に向けての動画パフォーマンス作り	新人発掘に向けてのパフォーマンスを考える
12		講義・演習	新人発掘に向けての動画パフォーマンス作り	アドバイスを踏まえてブラッシュアップ
13		講義・演習	テスト	テスト振り返り
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業終わりに伝える課題に次回まで取り組む。	
【使用教科書・教材・参考書】				
授業ごとに講師が準備, 必要に応じて配布				

科目名	劇場技術A(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	左右田
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	音響業界歴41年 音響講師歴21年 有限会社バンデール代表取締役						
授業の学習 内容	将来、自主公演や劇団等の音響係になった際、より効果的に音を扱えるようになる為の基礎講座。音響機器を使用し、自分たちでオペレーションをやる。演劇における音響の基本を学び、演出効果としての音の活用方法を学ぶ。						
到達目標	音響の基本的な仕組みを理解する。音楽再生ソフトの基礎的な使い方を理解する。						
評価方法と基準	■評価方法 出席率50% 期末テスト50% ■評価基準 授業への取り組む姿勢。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	演習にて使用する機材の取り扱い方法	
2		講義と演習	PAミキサーの使い方・演習	
3		講義と演習	CDデッキの使い方・演習	
4		講義と演習	朗読劇を通して学習したスキルの実践	
5		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-1A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
6		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-1B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
7		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-2A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
8		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-2B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
9		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-3A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
10		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-3B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
11		講義と演習	IEMの体験-1	
12		講義と演習	IEMの体験-2	
13		講義と演習	期末試験	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	劇場技術A(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	左右田
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	音響業界歴41年 音響講師歴21年 有限会社バンデール代表取締役						
授業の学習 内容	将来、自主公演や劇団等の音響係になった際、より効果的に音を扱えるようになる為の基礎講座。音響機器を使用し、自分たちでオペレーションをやる。演劇における音響の基本を学び、演出効果としての音の活用方法を学ぶ。						
到達目標	音響の基本的な仕組みを理解する。音楽再生ソフトの基礎的な使い方を理解する。						
評価方法と基準	■評価方法 出席率50% 期末テスト50% ■評価基準 授業への取り組む姿勢。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	演習にて使用する機材の取り扱い方法	
2		講義と演習	PAミキサーの使い方・演習	
3		講義と演習	CDデッキの使い方・演習	
4		講義と演習	朗読劇を通して学習したスキルの実践	
5		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-1A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
6		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-1B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
7		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-2A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
8		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-2B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
9		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-3A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
10		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-3B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
11		講義と演習	IEMの体験-1	
12		講義と演習	IEMの体験-2	
13		講義と演習	期末試験	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	劇場技術B(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松浦
学科・専攻	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	将来、自主公演や劇団等の音響係になった際、より効果的に音を扱えるようになる為の基礎講座。音響機器を使用し、自分たちでオペレーションをやる。演劇における音響の基本を学び、演出効果としての音の活用方法を学ぶ。						
到達目標	音響の基本的な仕組みを理解する。音楽再生ソフトの基礎的な使い方を理解する。						
評価方法と基準	■評価方法 出席率50% 期末テスト50% ■評価基準 授業への取り組む姿勢。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	演習にて使用する機材の取り扱い方法	
2		講義と演習	PAミキサーの使い方・演習	
3		講義と演習	CDデッキの使い方・演習	
4		講義と演習	朗読劇を通して学習したスキルの実践	
5		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-1A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
6		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-1B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
7		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-2A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
8		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-2B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
9		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-3A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
10		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-3B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
11		講義と演習	IEMの体験-1	
12		講義と演習	IEMの体験-2	
13		講義と演習	期末試験	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	劇場技術B(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松浦
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 屋間部一						
教員の略歴							
授業の学習 内容	将来、自主公演や劇団等の音響係になった際、より効果的に音を扱えるようになる為の基礎講座。音響機器を使用し、自分たちでオペレーションをやってみる。演劇における音響の基本を学び、演出効果としての音の活用方法を学ぶ。						
到達目標	音響の基本的な仕組みを理解する。音楽再生ソフトの基礎的な使い方を理解する。						
評価方法と基準	■評価方法 出席率50% 期末テスト50% ■評価基準 授業への取り組み姿勢。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	演習にて使用する機材の取り扱い方法	
2		講義と演習	PAミキサーの使い方・演習	
3		講義と演習	CDデッキの使い方・演習	
4		講義と演習	朗読劇を通して学習したスキルの実践	
5		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-1A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
6		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-1B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
7		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-2A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
8		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-2B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
9		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-3A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
10		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-3B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
11		講義と演習	IEMの体験-1	
12		講義と演習	IEMの体験-2	
13		講義と演習	期末試験	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	韓国語(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 李美姬 徐慧精
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位	
教員の略歴						
授業の学習 内容	1) ハングルの表記を覚える。 2) ペアやグループで会話の練習をする。 3) 韓国の文化について学ぶ。					
到達目標	1) 会話の練習を通して、簡単な挨拶や自己紹介ができるようになる。 2) 言葉を学ぶことで、韓国の社会や文化に対する関心を高める。					
評価方法と基準	1) 定期試験 60% 2) 出席 10% 3) 授業準備 10% 4) 授業態度 10% 5) 課題 10%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・発表	自己紹介&個人目標設定	ハングルの復習を行う
2		講義・発表	ハングルの理解を深める	文字書いて読める復習を行う
3		講義・発表	教科書の勉強	ワークブックで復習
4		講義・発表	リスニング練習・ペアで話す練習	好きな勉強法で楽しく復習
5		講義・発表	発音をよく聞いてマネする	繰り返して聞いてマネする
6		講義・発表	韓国の地図・文化を知る	教科書の内容を復習
7		講義・発表	友達・趣味・関心事について	作文を練習
8		講義・発表	将来・食べ物について	考えて作文を書く
9		講義・発表	否定・賛成表現	日常に使える表現を調べる
10		講義・発表	一人ずつ発表	自分の声を録音
11		講義・発表	形容詞・過去形	出来事について書く
12		講義・発表	未来形・可能形	将来にやりたいことを考える
13		講義・発表	作文・スピーチ	テスト準備
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		反復練習を通して身につける		
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級I&II ワークブック、プリント				
東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校				

科目名	韓国語 (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 李美姬 徐慧精
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位	
教員の略歴						
授業の学習 内容	<p>①ハンゲルの理解、発音、読み、聞き、作文、会話スキルをアップする          ②読解より実用的なコミュニケーションができるように話す力を身につける          ③教科書で勉強したものを生かして活用できるようにペア又はグループで練習すしたり発表する</p>					
到達目標	<p>韓国語の読解・聴解・会話スキルを發展させ、韓国のニュースやドラマを理解し、日常会話やディスカッションを円滑に行えるようになる。また、過去形や条件文、敬語などの文法を習得し、正確な表現ができるようになる。さらに、韓国の文化や観光地についての知識を深め、異文化理解を促進する。</p>					
評価方法と基準	<p>1) 定期テスト60% 2) 作文20% 3) スピーチ20%</p>					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・発表	新聞 - 韓国のニュース記事を読んで理解する。	ハンゲルの復習を行う
2		講義・発表	職業 - 職業に関する韓国語の単語を学ぶ。	ハンゲルの復習を行う
3		講義・発表	過去形 - 過去の出来事を表現するための文法を学ぶ。	ワークブックで復習
4		講義・発表	伝統行事 - 韓国の伝統的な行事や文化について学ぶ。	ワークブックで復習
5		講義・発表	発音練習 - 韓国語の発音を正確に練習する。	繰り返して聞いてマネする
6		講義・発表	友達との会話 - 友達との日常会話を練習する。	ワークブックで復習
7		講義・発表	ドラマ - 韓国ドラマを聴いて内容を理解する。	ワークブックで復習
8		講義・発表	条件文 - 条件を表現する文法を学ぶ。	ワークブックで復習
9		講義・発表	食べ物 - 韓国の食べ物に関する単語を学ぶ。	日常に使える表現を調べる
10		講義・発表	敬語 - 礼儀正しい表現や敬意を示す文法を学ぶ。	ワークブックで復習
11		講義・発表	観光地 - 韓国の観光地についての知識を深める。	ワークブックで復習
12		講義・発表	ディスカッション - トピックについてのディスカッションを行う。	他人の意見を聞いてレポートを記載
13		講義・発表	最終テスト準備 - 前期からの復習と最終テストの準備をする。	テスト準備
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		反復練習を通して身につける		
【使用教科書・教材・参考書】				
<p>できる韓国語初級I&amp;II ワークブック、プリント          東京ダンス・俳優&amp;舞台芸術専門学校</p>				

科目名	Global Communication(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	Anthony Matt 片岡 平山
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥づかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス
2		講義・演習	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス
3		講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	オンラインプラクティス
4		講義・演習	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	オンラインプラクティス
5		講義・演習	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス
6		講義・演習	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
7		講義・演習	継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス
8		講義・演習	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる 明確な説明をお願い出来るようになる	オンラインプラクティス
9		講義・演習	頻度について質問出来るようになる 頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる 値段を説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
10		講義・演習	食べ物について質問が出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文出来るようになる	オンラインプラクティス
11		講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
12		講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
13		講義・演習	復習	オンラインプラクティス
14		講義・演習	定期試験	オンラインプラクティス
15		講義・演習	振り返り	オンラインプラクティス
準備学習 時間外学習		自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Global Communication(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	Anthony Matt 片岡 平山
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥づかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス
2		講義・演習	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス
3		講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	オンラインプラクティス
4		講義・演習	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	オンラインプラクティス
5		講義・演習	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス
6		講義・演習	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
7		講義・演習	継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス
8		講義・演習	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる 明確な説明をお願い出来るようになる	オンラインプラクティス
9		講義・演習	頻度について質問出来るようになる 頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる 値段を説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
10		講義・演習	食べ物について質問が出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文出来るようになる	オンラインプラクティス
11		講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
12		講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
13		講義・演習	復習	オンラインプラクティス
14		講義・演習	定期試験	オンラインプラクティス
15		講義・演習	振り返り	オンラインプラクティス
準備学習 時間外学習		自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アクロバット(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	田中英輔
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一						
教員の略歴	スタントマンを経て大手テーマパークダンサーの後さまざまなアーティストのサポートダンサーを務める						
授業の学習 内容	ストレッチ→必要な筋カトレーニング(倒立・ブリッジなど)→マットで基礎から(前転・後転など)→各自挑戦したい技の練習						
到達目標	それぞれ習得したい技をマスターする ステージで使えるよう120%の完成度を目指す						
評価方法と基準	・出席率10% 授業態度30% 実技60%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	ストレッチ→必要な筋カトレーニング→マットで基礎から ネックスプリング	動画を撮り自分の動きを確認
2		演習	ストレッチ→必要な筋カトレーニング→マットで基礎から ネックスプリング	動画を撮り自分の動きを確認
3		演習	ストレッチ→必要な筋カトレーニング→マットで基礎から ハンドプリング	動画を撮り自分の動きを確認
4		演習	ストレッチ→必要な筋カトレーニング→マットで基礎から ハンドプリング	動画を撮り自分の動きを確認
5		演習	ストレッチ→必要な筋カトレーニング→マットで基礎から 側転	動画を撮り自分の動きを確認
6		演習	ストレッチ→必要な筋カトレーニング→マットで基礎から 側転	動画を撮り自分の動きを確認
7		演習	ストレッチ→必要な筋カトレーニング→マットで基礎から チートエアリアル	動画を撮り自分の動きを確認
8		演習	ストレッチ→必要な筋カトレーニング→マットで基礎から チートエアリアル	動画を撮り自分の動きを確認
9		演習	ストレッチ→必要な筋カトレーニング→マットで基礎から バック転	動画を撮り自分の動きを確認
10		演習	ストレッチ→必要な筋カトレーニング→マットで基礎から バック転	動画を撮り自分の動きを確認
11		演習	ハンドスプリング・チートエアリアル・バック転	動画を撮り自分の動きを確認
12		演習	ハンドスプリング・チートエアリアル・バック転	動画を撮り自分の動きを確認
13		演習	各自マスターしたい技を特訓	動画を撮り自分の動きを確認
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アクロバット(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	田中英輔
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一						
教員の略歴	スタントマンを経て大手テーマパークダンサーの後さまざまなアーティストのサポートダンサーを務める						
授業の学習 内容	ストレッチ→必要な筋カトレーニング(倒立・ブリッジなど)→マットで基礎から(前転・後転など)→各自挑戦したい技の練習						
到達目標	それぞれ習得したい技をマスターする ステージで使えるよう120%の完成度を目指す						
評価方法と基準	・出席率10% 授業態度30% 実技60%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	ストレッチ→必要な筋カトレーニング→マットで基礎から ネックスプリング	動画を撮り自分の動きを確認
2		演習	ストレッチ→必要な筋カトレーニング→マットで基礎から ネックスプリング	動画を撮り自分の動きを確認
3		演習	ストレッチ→必要な筋カトレーニング→マットで基礎から ハンドプリング	動画を撮り自分の動きを確認
4		演習	ストレッチ→必要な筋カトレーニング→マットで基礎から ハンドプリング	動画を撮り自分の動きを確認
5		演習	ストレッチ→必要な筋カトレーニング→マットで基礎から 側転	動画を撮り自分の動きを確認
6		演習	ストレッチ→必要な筋カトレーニング→マットで基礎から 側転	動画を撮り自分の動きを確認
7		演習	ストレッチ→必要な筋カトレーニング→マットで基礎から チートエアリアル	動画を撮り自分の動きを確認
8		演習	ストレッチ→必要な筋カトレーニング→マットで基礎から チートエアリアル	動画を撮り自分の動きを確認
9		演習	ストレッチ→必要な筋カトレーニング→マットで基礎から バック転	動画を撮り自分の動きを確認
10		演習	ストレッチ→必要な筋カトレーニング→マットで基礎から バック転	動画を撮り自分の動きを確認
11		演習	ハンドスプリング・チートエアリアル・バック転	動画を撮り自分の動きを確認
12		演習	ハンドスプリング・チートエアリアル・バック転	動画を撮り自分の動きを確認
13		演習	各自マスターしたい技を特訓	動画を撮り自分の動きを確認
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	劇場技術A(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	左右田
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	音響業界歴41年 音響講師歴21年 有限会社バンデール代表取締役						
授業の学習 内容	将来、自主公演や劇団等の音響係になった際、より効果的に音を扱えるようになる為の基礎講座。音響機器を使用し、自分たちでオペレーションをやる。演劇における音響の基本を学び、演出効果としての音の活用方法を学ぶ。						
到達目標	音響の基本的な仕組みを理解する。音楽再生ソフトの基礎的な使い方を理解する。						
評価方法と基準	■評価方法 出席率50% 期末テスト50% ■評価基準 授業への取り組み姿勢。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	演習にて使用する機材の取り扱い方法	
2		講義と演習	PAミキサーの使い方・演習	
3		講義と演習	CDデッキの使い方・演習	
4		講義と演習	朗読劇を通して学習したスキルの実践	
5		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-1A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
6		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-1B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
7		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-2A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
8		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-2B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
9		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-3A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
10		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-3B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
11		講義と演習	IEMの体験-1	
12		講義と演習	IEMの体験-2	
13		講義と演習	期末試験	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	劇場技術A(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	左右田
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	音響業界歴41年 音響講師歴21年 有限会社バンデロー代表取締役						
授業の学習 内容	将来、自主公演や劇団等の音響係になった際、より効果的に音を扱えるようになる為の基礎講座。音響機器を使用し、自分たちでオペレーションをやる。演劇における音響の基本を学び、演出効果としての音の活用方法を学ぶ。						
到達目標	音響の基本的な仕組みを理解する。音楽再生ソフトの基礎的な使い方を理解する。						
評価方法と基準	■評価方法 出席率50% 期末テスト50% ■評価基準 授業への取り組み姿勢。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	演習にて使用する機材の取り扱い方法	
2		講義・演習	PAミキサーの使い方・演習	
3		講義・演習	CDデッキの使い方・演習	
4		講義・演習	朗読劇を通して学習したスキルの実践	
5		講義・演習	音楽再生ソフトの基礎-1A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
6		講義・演習	音楽再生ソフトの基礎-1B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
7		講義・演習	音楽再生ソフトの基礎-2A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
8		講義・演習	音楽再生ソフトの基礎-2B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
9		講義・演習	音楽再生ソフトの基礎-3A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
10		講義・演習	音楽再生ソフトの基礎-3B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
11		講義・演習	IEMの体験-1	
12		講義・演習	IEMの体験-2	
13		講義・演習	期末試験	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	劇場技術B(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松浦
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	音響業界歴41年 音響講師歴21年 有限会社バンデール代表取締役						
授業の学習 内容	将来、自主公演や劇団等の音響係になった際、より効果的に音を扱えるようになる為の基礎講座。音響機器を使用し、自分たちでオペレーションをやる。演劇における音響の基本を学び、演出効果としての音の活用方法を学ぶ。						
到達目標	音響の基本的な仕組みを理解する。音楽再生ソフトの基礎的な使い方を理解する。						
評価方法と基準	■評価方法 出席率50% 期末テスト50% ■評価基準 授業への取り組み姿勢。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	演習にて使用する機材の取り扱い方法	
2		講義・演習	PAミキサーの使い方・演習	
3		講義・演習	CDデッキの使い方・演習	
4		講義・演習	朗読劇を通して学習したスキルの実践	
5		講義・演習	音楽再生ソフトの基礎-1A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
6		講義・演習	音楽再生ソフトの基礎-1B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
7		講義・演習	音楽再生ソフトの基礎-2A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
8		講義・演習	音楽再生ソフトの基礎-2B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
9		講義・演習	音楽再生ソフトの基礎-3A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
10		講義・演習	音楽再生ソフトの基礎-3B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
11		講義・演習	IEMの体験-1	
12		講義・演習	IEMの体験-2	
13		講義・演習	期末試験	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	劇場技術B(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松浦
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	音響業界歴41年 音響講師歴21年 有限会社バンデール代表取締役						
授業の学習 内容	将来、自主公演や劇団等の音響係になった際、より効果的に音を扱えるようになる為の基礎講座。音響機器を使用し、自分たちでオペレーションをやる。演劇における音響の基本を学び、演出効果としての音の活用方法を学ぶ。						
到達目標	音響の基本的な仕組みを理解する。音楽再生ソフトの基礎的な使い方を理解する。						
評価方法と基準	■評価方法 出席率50% 期末テスト50% ■評価基準 授業への取り組む姿勢。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	演習にて使用する機材の取り扱い方法	
2		講義・演習	PAミキサーの使い方・演習	
3		講義・演習	CDデッキの使い方・演習	
4		講義・演習	朗読劇を通して学習したスキルの実践	
5		講義・演習	音楽再生ソフトの基礎-1A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
6		講義・演習	音楽再生ソフトの基礎-1B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
7		講義・演習	音楽再生ソフトの基礎-2A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
8		講義・演習	音楽再生ソフトの基礎-2B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
9		講義・演習	音楽再生ソフトの基礎-3A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
10		講義・演習	音楽再生ソフトの基礎-3B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
11		講義・演習	IEMの体験-1	
12		講義・演習	IEMの体験-2	
13		講義・演習	期末試験	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	韓国語(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員 李美姬 徐慧精
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位	
教員の略歴						
授業の学習 内容	①ハンゲルの理解、発音、読み、聞き、作文、会話スキルをアップする ②読解より実用的なコミュニケーションができるように話す力を身につける ③教科書で勉強したものを生かして活用できるようにペア又はグループで練習すしたり発表する					
到達目標	①日常会話が可能になること ②必要な韓国語を身につけて気軽に話せるようにする ③抵抗感、違和感、恐怖心を持たないようにする					
評価方法と基準	1) 定期テスト60% 2) 作文20% 3) スピーチ20%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・発表	自己紹介&個人目標設定	ハンゲルの復習を行う
2		講義・発表	ハンゲルの理解を深める	文字書いて読める復習を行う
3		講義・発表	教科書の勉強	ワークブックで復習
4		講義・発表	リスニング練習・ペアで話す練習	好きな勉強法で楽しく復習
5		講義・発表	発音をよく聞いてマネする	繰り返して聞いてマネする
6		講義・発表	韓国の地図・文化を知る	教科書の内容を復習
7		講義・発表	友達・趣味・関心事について	作文を練習
8		講義・発表	将来・食べ物について	考えて作文を書く
9		講義・発表	否定・賛成表現	日常に使える表現を調べる
10		講義・発表	一人ずつ発表	自分の声を録音
11		講義・発表	形容詞・過去形	出来事について書く
12		講義・発表	未来形・可能形	将来にやりたいことを考える
13		講義・発表	作文・スピーチ	テスト準備
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		反復練習を通して身につける		
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級I&II ワークブック、プリント				
東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校				

科目名	韓国語(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員 李美姬 徐慧精
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位	
教員の略歴						
授業の学習 内容	<p>①ハンゲルの理解、発音、読み、聞き、作文、会話スキルをアップする          ②読解より実用的なコミュニケーションができるように話す力を身につける          ③教科書で勉強したものを生かして活用できるようにペア又はグループで練習すしたり発表する</p>					
到達目標	<p>韓国語の読解・聴解・会話スキルを発展させ、韓国のニュースやドラマを理解し、日常会話やディスカッションを円滑に行えるようになる。また、過去形や条件文、敬語などの文法を習得し、正確な表現ができるようになる。さらに、韓国の文化や観光地についての知識を深め、異文化理解を促進する。</p>					
評価方法と基準	<p>1) 定期テスト60% 2) 作文20% 3) スピーチ20%</p>					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・発表	新聞 - 韓国のニュース記事を読んで理解する。	ハンゲルの復習を行う
2		講義・発表	職業 - 職業に関する韓国語の単語を学ぶ。	ハンゲルの復習を行う
3		講義・発表	過去形 - 過去の出来事を表現するための文法を学ぶ。	ワークブックで復習
4		講義・発表	伝統行事 - 韓国の伝統的な行事や文化について学ぶ。	ワークブックで復習
5		講義・発表	発音練習 - 韓国語の発音を正確に練習する。	繰り返して聞いてマネする
6		講義・発表	友達との会話 - 友達との日常会話を練習する。	ワークブックで復習
7		講義・発表	ドラマ - 韓国ドラマを聴いて内容を理解する。	ワークブックで復習
8		講義・発表	条件文 - 条件を表現する文法を学ぶ。	ワークブックで復習
9		講義・発表	食べ物 - 韓国の食べ物に関する単語を学ぶ。	日常に使える表現を調べる
10		講義・発表	敬語 - 礼儀正しい表現や敬意を示す文法を学ぶ。	ワークブックで復習
11		講義・発表	観光地 - 韓国の観光地についての知識を深める。	ワークブックで復習
12		講義・発表	ディスカッション - トピックについてのディスカッションを行う。	他人の意見を聞いてレポートを記載
13		講義・発表	最終テスト準備 - 前期からの復習と最終テストの準備をする。	テスト準備
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		反復練習を通して身につける		
【使用教科書・教材・参考書】				
<p>できる韓国語初級I&amp;II ワークブック、プリント          東京ダンス・俳優&amp;舞台芸術専門学校</p>				

科目名	Global Communication(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	Anthony Matt 片岡 平山
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥づかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス
2		講義・演習	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス
3		講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	オンラインプラクティス
4		講義・演習	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	オンラインプラクティス
5		講義・演習	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス
6		講義・演習	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
7		講義・演習	継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス
8		講義・演習	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる 明確な説明をお願い出来るようになる	オンラインプラクティス
9		講義・演習	頻度について質問出来るようになる 頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる 値段を説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
10		講義・演習	食べ物について質問が出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文出来るようになる	オンラインプラクティス
11		講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
12		講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
13		講義・演習	復習	オンラインプラクティス
14		講義・演習	定期試験	オンラインプラクティス
15		講義・演習	振り返り	オンラインプラクティス
準備学習 時間外学習		自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Global Communication(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	Anthony Matt 片岡 平山
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 1
2		講義・演習	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス Unit 3
3		講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	オンラインプラクティス Unit 6
4		講義・演習	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 8
5		講義・演習	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 11
6		講義・演習	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 7 & 13
7		講義・演習	継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 14
8		講義・演習	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる 明確な説明をお願い出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 19 & 20
9		講義・演習	頻度について質問出来るようになる 頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる 値段を説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 21 & 23
10		講義・演習	食べ物について質問出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 28
11		講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 29 & 30
12		講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 32
13		講義・演習	復習	オンラインプラクティス
14		講義・演習	定期試験	
15		講義・演習	振り返り	
準備学習 時間外学習		自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	クリエイション(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	SAE
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
学科・専攻	メディア & テクノロジー科 昼間部ー						
教員の略歴	米津玄師やMISIAのツアー、東京五輪開会式に出演。ミュージカル『ピーターパン』『INTO THE WOODS』やコンテンポラリーダンス公演 (Co. Ruri Mito) への出演経験を持つ。映像・振付：ドラマ『パリピ孔明』に出演。近口本知彦の振付助手としてCMやMVに携わるほか、舞台の振付家としても活動。指導：専門学校の講師を務めるなど、育成にも注力。						
授業の学習 内容	ダンサーとして必要な技術だけではなく、一社会人として生活して行くのに必要な、コミュニケーションと自己理解と他者理解というところを、踊りを通して学びます。インプロヴィゼーションのワークでは、より個としてのコミュニケーションを密に取り、また、振り付け等を実施する時には、個を生かしつつもどう協調性を生むのかというアプローチを。そして振り付けなどのクリエイティブ側の観点や、知識も伝えて、多方面から踊り、表現についての理解を講師も含めて理解を深めて行くことで、しっかりと自立して行けるように取り組みます。						
到達目標	授業として与えられるものに対して、自発的に考え、個人の持つ感覚・思考をしっかりと自覚し確立していくこと。何が必要かを自分で考える力をつけること。言葉で人に伝え、対話を行えるようにし、コミュニケーションを他者としっかりと取る中で、自己理解と他者理解を深めていく。						
評価方法と基準	出席率80パーセント、定期テスト20パーセント						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	初回、同じクラスを進めていくメンバーとのコミュニケーションを会話と身体ととっていきます	
2		講義・演習	インプロのクロスフロアなどトレーニング	前回の注意点、振りの復習
3		講義・演習	インプロのクロスフロアなどトレーニングからソロを踊る	前回の注意点、振りの復習
4		講義・演習	フォローイングからインプロを学ぶ	前回の注意点、振りの復習
5		講義・演習	フォローイングからインプロを学ぶ	前回の注意点、振りの復習
6		講義・演習	フォローイングからインプロを学ぶ	前回の注意点、振りの復習
7		講義・演習	振り付けを作る	前回の注意点、振りの復習
8		講義・演習	振り付けを作る	前回の注意点、振りの復習
9		講義・演習	振り付けを作る	前回の注意点、振りの復習
10		講義・演習	映像を撮る	前回の注意点、振りの復習
11		講義・演習	映像を撮る	前回の注意点、振りの復習
12		講義・演習	テーマを持ってソロで即興を踊る	前回の注意点、振りの復習
13		講義・演習	テーマを持ってソロで即興を踊る	前回の注意点、振りの復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	クリエイション(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	SAE
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	米津玄師やMISIAのツアー、東京五輪開会式に出演。ミュージカル『ピーターパン』『INTO THE WOODS』やコンテンポラリーダンス公演(Co. Ruri Mito)への出演経験を持つ。映像・振付:ドラマ『パリピ孔明』に出演。辻口本知彦の振付助手としてCMやMVに携わるほか、舞台の振付家としても活動。指導:専門学校の講師を務めるなど、育成にも注力。						
授業の学習 内容	ダンサーとして必要な技術だけではなく、一社会人として生活して行くのに必要な、コミュニケーションと自己理解と他者理解というところを、踊りを通して学びます。インプロヴィゼーションのワークでは、より個としてのコミュニケーションを密に取り、また、振り付け等を実施する時には、個を生かしつつもどう協調性を生むのかというアプローチを。そして振り付けなどのクリエイティブ側の観点や、知識も伝えて、多方面から踊り、表現についての理解を講師も含めて理解を深めて行くことで、しっかりと自立して行けるように取り組めます。						
到達目標	授業として与えられるものに対して、自発的に考え、個人の持つ感覚・思考をしっかりと自覚し確立していくこと。何が必要かを自分で考える力をつけること。言葉で人に伝え、対話を行えるようにし、コミュニケーションを他者としっかりと取る中で、自己理解と他者理解を深めていく。						
評価方法と基準	出席率80パーセント、定期テスト20パーセント						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	今後の後期の目標や、やりたい自分の話をしっかりとした後、トレーニング	エクササイズ等の復習
2		講義・演習	インプロのクロスフロアなどトレーニングの後、ソロで即興を踊る	前回の注意点、振りの復習
3		講義・演習	グループ分けをして作品を作る1	前回の注意点、振りの復習
4		講義・演習	グループ分けをして作品を作る2	前回の注意点、振りの復習
5		講義・演習	作品発表	前回の注意点、振りの復習
6		講義・演習	講師の振り付けを踊る	前回の注意点、振りの復習
7		講義・演習	前週にやった振り付けの細かいこだわりを深めます	前回の注意点、振りの復習
8		講義・演習	振り付けを自分でアレンジしていく。角度や細かい手、顔などのディテール	前回の注意点、振りの復習
9		講義・演習	即興で踊る。という感覚と振り付けを踊る感覚の違いを探っていきます	前回の注意点、振りの復習
10		講義・演習	即興的に踊るように、振り付けをアレンジして踊ります。	前回の注意点、振りの復習
11		講義・演習	前の週からの振り付けを一度ビデオに撮り、自分でフィードバックします	前回の注意点、振りの復習
12		講義・演習	前の週の映像にカメラワークを足し、カメラワークを学びます。	前回の注意点、振りの復習
13		講義・演習	具体的に撮影に向けて、衣装や踊り方、撮り方を決めていきます	前回の注意点、振りの復習
14		講義・演習	授業内で撮影をしていきます。	前回の注意点、振りの復習
15		講義・演習	撮った映像作品を、LIVEverとして一人ずつ踊ります	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アクロバット(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	乙木 勇人
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	俳優として人狼TLPT O(オービット)シリーズなどに出演する他、映画監督としても自身でプロデュースを手がけるなどマルチに活動する。主な監督作品に、ヒューマンラストシネマ渋谷にて2025年9月に劇場公開した映画「神と恩送り、」や短編映画「ラストオーダー」などがある。						
授業の学習 内容	オーディションや舞台などで俳優として必要になるため。 俳優科目との関係、 アクロバットという男女問わず武器になる技術を身に付ける。						
到達目標	俳優として必要な基礎体力と技術を身に付ける。 全体としての目標は正しい形の側転、出来る学生はバック転まで。						
評価方法と基準	基礎運動(安全性を重視) 50% 出席率 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	基礎のマット運動	なし
2		演習	基礎のマット運動	なし
3		演習	側転	なし
4		演習	側転	なし
5		演習	側転(コンビネーション)	なし
6		演習	側転	なし
7		演習	側転(学生に合わせて課題を変更)	なし
8		演習	側転(学生に合わせて課題を変更)	なし
9		演習	側転(学生に合わせて課題を変更)	なし
10		演習	側転(学生に合わせて課題を変更)	なし
11		演習	側転(学生に合わせて課題を変更)	なし
12		演習	側転(学生に合わせて課題を変更)	なし
13		演習	側転(学生に合わせて課題を変更)	なし
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アクロバット(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	乙木勇人
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	俳優として人狼TLPT O(オービット)シリーズなどに出演する他、映画監督としても自身でプロデュースを手がけるなどマルチに活動する。主な監督作品に、ヒューマントラストシネマ渋谷にて2025年9月に劇場公開した映画「神と恩送り、」や短編映画「ラストオーダー」などがある。						
授業の学習 内容	オーディションや舞台などで俳優として必要になるため。 俳優科目との関係、 アクロバットという男女問わず武器になる技術を身に付ける。						
到達目標	俳優として必要な基礎体力と技術を身に付ける。 全体としての目標は正しい形の側転、出来る学生はバック転まで。						
評価方法と基準	基礎運動(安全性を重視) 50% 出席率 50%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		演習	基礎のマット運動		なし
2		演習	基礎のマット運動		なし
3		演習	側転		なし
4		演習	側転		なし
5		演習	側転(コンビネーション)		なし
6		演習	側転		なし
7		演習	側転(学生に合わせて課題を変更)		なし
8		演習	側転(学生に合わせて課題を変更)		なし
9		演習	側転(学生に合わせて課題を変更)		なし
10		演習	側転(学生に合わせて課題を変更)		なし
11		演習	側転(学生に合わせて課題を変更)		なし
12		演習	側転(学生に合わせて課題を変更)		なし
13		演習	側転(学生に合わせて課題を変更)		なし
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ		レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ		レポート提出
準備学習 時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	ライブゼミ(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	鮎川麻弥
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	1984年にアニメ『重戦機エルガイム』主題歌でデビュー以降、『機動戦士Zガンダム』など多数のアニメ主題歌やCMソングを手がけ、20枚以上のアルバムをリリース。透明感と温かみのある声質で200本以上のCMソングを歌唱し、国内外のアニソン公演にも積極的に参加。2019年にはデビュー35周年記念アルバムとツアーを実施し、ガンダムソングの実力派ディーヴァとしても注目を集める。現在はアーティスト活動と並行し、洗足学園音楽大学などでボーカル講師を務める。						
授業の学習 内容	ソロアーティストとしてのライブパフォーマンスを研究および習得する。各自選曲し、ステージ上での歌唱(基本発声・音程・リズム・表現等)レクチャーを受ける。 自身の個性や方向性を考えながら、ステージングや衣裳などセルフプロデュースする。 また、ライブの進行や、スタッフとのコミュニケーションも学び、お客様はもちろん、スタッフや共演者からも愛されるアーティストになるための人間力も学ぶ。アーティストとしての自我育成にも努めていく。						
到達目標	セルフプロデュースでライブを行えるアーティストを目指し、歌唱及びステージングの技術やアーティスト感性を持てるようになる。 学期末に音楽テクノロジー科協力のもと、本式のライブを行い、動員・内容共に成功させる。 卒業後に、いちアーティストとしてどう活躍していくかのビジョンを持ち始められることを目指す。						
評価方法と基準	平常点(出席・授業態度) 50% 最終授業・ライブパフォーマンス 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	ガイドダンス～授業の流れ、セルフプロデュースについて、選曲	選曲をした楽曲のINST音源・歌詞(2部)用意
2		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
3		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
4		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
5		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
6		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 暗譜にてパフォーマンス	もらったアドバイスに対しての練習 暗譜をしてくる
7		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 衣裳チェック	もらったアドバイスに対しての練習 衣裳を準備する
8		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ステージング・表情チェック	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
9		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ステージング・表情チェック	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
10		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 仕上げ	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
11		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 仕上げ	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
12		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ライブ RH	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習・本番に向けた準備
13		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ライブ RH	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習・本番に向けた準備
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
Keyboard、マイク、姿見鏡、iPad・持参音源、歌詞カード(2部用意)、筆記用具、				

東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	ライブゼミ(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	鮎川麻弥
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	1984年にアニメ『重戦機エルガイム』主題歌でデビュー以降、『機動戦士Zガンダム』など多数のアニメ主題歌やCMソングを手がけ、20枚以上のアルバムをリリース。透明感と温かみのある声質で200本以上のCMソングを歌唱し、国内外のアニソン公演にも積極的に参加。2019年にはデビュー35周年記念アルバムとツアーを実施し、ガンダムソングの実力派ディーヴァとしても注目を集める。現在はアーティスト活動と並行し、洗足学園音楽大学などでボーカル講師を務める。						
授業の学習 内容	ソロアーティストとしてのライブパフォーマンスを研究および習得する。各自選曲し、ステージ上での歌唱(基本発声・音程・リズム・表現等)レクチャーを受ける。 自身の個性や方向性を考えながら、ステージングや衣裳などセルフプロデュースする。 また、ライブの進行や、スタッフとのコミュニケーションも学び、お客様はもちろん、スタッフや共演者からも愛されるアーティストになるための人間力も学ぶ。アーティストとしての自我育成にも努めていく。						
到達目標	セルフプロデュースでライブを行えるアーティストを目指し、歌唱及びステージングの技術やアーティスト感性を持てるようになる。 学期末に音楽テクノロジー科協力のもと、本式のライブを行い、動員・内容共に成功させる。 卒業後に、いちアーティストとしてどう活躍していくかのビジョンを持ち始められることを目指す。						
評価方法と基準	平常点(出席・授業態度) 50% 最終授業・ライブパフォーマンス 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	ガイドランス～授業の流れ、セルフプロデュースについて、選曲	選曲をした楽曲のINST音源・歌詞(2部)用意
2		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
3		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
4		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
5		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
6		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 暗譜にてパフォーマンス	もらったアドバイスに対しての練習 暗譜をしてくる
7		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 衣裳チェック	もらったアドバイスに対しての練習 衣裳を準備する
8		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ステージング・表情チェック	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
9		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ステージング・表情チェック	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
10		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 仕上げ	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
11		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 仕上げ	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
12		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ライブ RH	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習・本番に向けた準備
13		演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ライブ RH	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習・本番に向けた準備
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
Keyboard、マイク、姿見鏡、iPad・持参音源、歌詞カード(2部用意)、筆記用具、				

東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	劇場技術A(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	左右田
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	将来、自主公演や劇団等の音響係になった際、より効果的に音を扱えるようになる為の基礎講座。音響機器を使用し、自分たちでオペレーションをやってみる。演劇における音響の基本を学び、演出効果としての音の活用方法を学ぶ。						
到達目標	音響の基本的な仕組みを理解する。音楽再生ソフトの基礎的な使い方を理解する。						
評価方法と基準	■評価方法 出席率50% 期末テスト50% ■評価基準 授業への取り組み姿勢。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	演習にて使用する機材の取り扱い方法	
2		講義と演習	PAミキサーの使い方・演習	
3		講義と演習	ODデッキの使い方・演習	
4		講義と演習	朗読劇を通して学習したスキルの実践	
5		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-1A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
6		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-1B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
7		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-2A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
8		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-2B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
9		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-3A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
10		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-3B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
11		講義と演習	IEMの体験-1	
12		講義と演習	IEMの体験-2	
13		講義と演習	期末試験	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	劇場技術A(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	左右田
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	将来、自主公演や劇団等の音響係になった際、より効果的に音を扱えるようになる為の基礎講座。音響機器を使用し、自分たちでオペレーションをやってみる。演劇における音響の基本を学び、演出効果としての音の活用方法を学ぶ。						
到達目標	音響の基本的な仕組みを理解する。音楽再生ソフトの基礎的な使い方を理解する。						
評価方法と基準	■評価方法 出席率50% 期末テスト50% ■評価基準 授業への取り組む姿勢。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	演習にて使用する機材の取り扱い方法	
2		講義と演習	PAミキサーの使い方・演習	
3		講義と演習	ODデッキの使い方・演習	
4		講義と演習	朗読劇を通して学習したスキルの実践	
5		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-1A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
6		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-1B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
7		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-2A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
8		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-2B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
9		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-3A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
10		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-3B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
11		講義と演習	IEMの体験-1	
12		講義と演習	IEMの体験-2	
13		講義と演習	期末試験	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	劇場技術B(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	松浦
学科・専攻	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	将来、自主公演や劇団等の音響係になった際、より効果的に音を扱えるようになる為の基礎講座。音響機器を使用し、自分たちでオペレーションをやる。演劇における音響の基本を学び、演出効果としての音の活用方法を学ぶ。						
到達目標	音響の基本的な仕組みを理解する。音楽再生ソフトの基礎的な使い方を理解する。						
評価方法と基準	■評価方法 出席率50% 期末テスト50% ■評価基準 授業への取り組む姿勢。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	演習にて使用する機材の取り扱い方法	
2		講義と演習	PAミキサーの使い方・演習	
3		講義と演習	ODデッキの使い方・演習	
4		講義と演習	朗読劇を通して学習したスキルの実践	
5		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-1A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
6		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-1B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
7		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-2A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
8		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-2B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
9		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-3A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
10		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-3B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
11		講義と演習	IEMの体験-1	
12		講義と演習	IEMの体験-2	
13		講義と演習	期末試験	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	劇場技術B(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	松浦
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	将来、自主公演や劇団等の音響係になった際、より効果的に音を扱えるようになる為の基礎講座。音響機器を使用し、自分たちでオペレーションをやってみる。演劇における音響の基本を学び、演出効果としての音の活用方法を学ぶ。						
到達目標	音響の基本的な仕組みを理解する。音楽再生ソフトの基礎的な使い方を理解する。						
評価方法と基準	■評価方法 出席率50% 期末テスト50% ■評価基準 授業への取り組み姿勢。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	演習にて使用する機材の取り扱い方法	
2		講義と演習	PAミキサーの使い方・演習	
3		講義と演習	ODデッキの使い方・演習	
4		講義と演習	朗読劇を通して学習したスキルの実践	
5		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-1A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
6		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-1B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
7		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-2A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
8		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-2B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
9		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-3A/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
10		講義と演習	音楽再生ソフトの基礎-3B/朗読劇を通して学習したスキルの実践	
11		講義と演習	IEMの体験-1	
12		講義と演習	IEMの体験-2	
13		講義と演習	期末試験	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	韓国語(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員 李美姬 徐慧精
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位	
教員の略歴						
授業の学習 内容	1) 韓国語のスキルをアップする。 2) ペアやグループで会話の練習をする。 3) 韓国の社会や文化について学ぶ。					
到達目標	1) 適切なコミュニケーションができるようになる。 2) 韓国の社会や文化について理解を深める。 3) 意思を伝達することができるようになる。					
評価方法と基準	1) 定期試験 60% 2) 出席 10% 3) 授業準備 10% 4) 授業態度 10% 5) 課題 10%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介、目標設定	自己紹介を書く。
2		講義・演習	初級Ⅱの復習をする。	プリントで練習する
3		講義・演習	性格について	学んだ文法の練習をする
4		講義・演習	発表会	発表した作文を直す
5		講義・演習	TOPIK	TOPIKの練習をする
6		講義・演習	買い物をする	作文をする
7		講義・演習	発表会と会話	学んだ文法の練習をする
8		講義・演習	手紙を書く	作文をする
9		講義・演習	-아/어 있다	学んだ文法の練習をする
10		講義・演習	定期試験	復習をする
11		講義・演習	TOPIK	TOPIKの練習をする
12		講義・演習	-(으)ㄴ/는/(으)ㄹ 것 같다	学んだ文法の練習をする
13		講義・演習	CDを聞く	聴いて書く
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		反復練習を通して身につける		
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級I&Ⅱ ワークブック、プリント				
東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校				

科目名	韓国語(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員 李美姬 徐慧精
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位	
教員の略歴						
授業の学習 内容	1) 韓国語のスキルをアップする。 2) ペアやグループで会話の練習をする。 3) 韓国の社会や文化について学ぶ。					
到達目標	1) 適切なコミュニケーションができるようになる。 2) 韓国の社会や文化について理解を深める。 3) 意思を伝達することができるようになる。					
評価方法と基準	1) 定期試験 60% 2) 出席 10% 3) 授業準備 10% 4) 授業態度 10% 5) 課題 10%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・発表	前期の復習をする。	復習する
2		講義・発表	TOPIK	TOPIKの練習をする
3		講義・発表	설날とお正月	長文の作文をする
4		講義・発表	韓国と日本の違い	会話の練習をする
5		講義・発表	TOPIK	TOPIKの練習をする
6		講義・発表	집들이について	招待状を書く
7		講義・発表	CDを聞く。	聴いて書く
8		講義・発表	学生としての生活について	長文の作文をする
9		講義・発表	キーボードの使い方	ハングルでメールを送る
10		講義・発表	定期試験	復習する
11		講義・発表	最新のニュース	ニュースの内容を書く
12		講義・発表	自分の将来について	夢の作文
13		講義・発表	一年間の振り返りをする	意思表示をする
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		反復練習を通して身につける		
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級I&II ワークブック、プリント				
東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校				

科目名	Global Communication(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	Anthony Matt 片岡 平山
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥づかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス
2		講義・演習	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス
3		講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	オンラインプラクティス
4		講義・演習	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	オンラインプラクティス
5		講義・演習	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス
6		講義・演習	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
7		講義・演習	継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス
8		講義・演習	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる 明確な説明をお願い出来るようになる	オンラインプラクティス
9		講義・演習	頻度について質問出来るようになる 頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる 値段を説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
10		講義・演習	食べ物について質問が出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文出来るようになる	オンラインプラクティス
11		講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
12		講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
13		講義・演習	復習	オンラインプラクティス
14		講義・演習	定期試験	オンラインプラクティス
15		講義・演習	振り返り	オンラインプラクティス
準備学習 時間外学習		自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Global Communication(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	Anthony Matt 片岡 平山
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥づかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 1
2		講義・演習	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス Unit 3
3		講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	オンラインプラクティス Unit 6
4		講義・演習	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 8
5		講義・演習	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 11
6		講義・演習	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 7 & 13
7		講義・演習	継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 14
8		講義・演習	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる 明確な説明をお願い出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 19 & 20
9		講義・演習	頻度について質問出来るようになる 頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる 値段を説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 21 & 23
10		講義・演習	食べ物について質問出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 28
11		講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 29 & 30
12		講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 32
13		講義・演習	復習	オンラインプラクティス
14		講義・演習	定期試験	
15		講義・演習	振り返り	
準備学習 時間外学習		自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				